令和3年第7回

荒川区教育委員会定例会

令和3年4月9日

於)特別会議室

荒川区教育委員会

令和3年荒川区教育委員会第7回定例会

1 日 時	令和3年4月9日	午後1時30分
2 場 所	特別会議室	
3 出席委員	教 育 長
教育長職務代理者
委 員
委 員
委 員	高 梨 博 和
繁 田 雅 弘
長 島 啓 記
坂 田 一 郎
小 林 敦 子
4 出席職員	教 育 部 長
教育総務課長
教育施設課長
学 務 課 長
指 導 室 長
教育センター所長
生涯学習課長
スポーツ振興課長
ゆいの森課長
地域図書館課長
書 記
書 記
書 記
書 記	三 枝 直 樹
山 形 実
的 場 寛
菊 池 秀 幸
津 野 澄 人
大久保 和 彦
青 谷 宗 彦
田 上 誠 二
小 林 弘 幸
成 瀬 慶 亮
杉 山 茂
原 田 正 伸
丸 田 恭 雅
宮 島 弘 江

(1) 報告事項

- ア 新型コロナウイルス感染症について
- イ 令和3年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について
- ウ 公立学校教職員の措置等について(報告)
- エ 荒川区子ども読書活動推進計画(第四次)の策定について

(2) その他

教育長 定刻になりましたので、ただいまから、荒川区教育委員会令和3年第7回定例会を開催いたします。

初めに出席者数の御報告を申し上げます。本日、5名全員出席でございます。

議事録の署名委員については長島委員、そして坂田委員、御両名にお願いしたいと思います。

1月22日開催の第2回定例会の議事録を皆様にお送りしております。次回の定例会で承認についてお諮りさせていただきたいと存じます。次回までに御確認いただきまして、御意見等について事務局までお寄せいただければと存じます。

議事に入る前に、区及び教育委員会におきまして人事異動がございました。異動のあった部課長幹部職員を紹介させていただきます。

まず、教育施設課ですけれども、的場寛参事が着任いたしました。的場参事、自己紹介をお願いします。

教育施設課長 この4月から教育施設課長になりました的場と申します。今後、学校を回らせていただいて、学校の先生方と連携を図りながら施設の維持管理、適正な維持管理に努めてまいりたいと思います。よろしくお願いたします。

教育長 的場参事ということで紹介しましたけれども、部長級職員で課長事務取扱になります。

続きまして、地域文化スポーツ部、生涯学習課長が自己紹介いたします。

生涯学習課長 この4月1日に生涯学習課長を拝命しました青谷と申します。今後ともよろしくお願いたします。

教育長 続きまして、スポーツ振興課、田上さん。

スポーツ振興課長 この4月よりスポーツ振興課長の命を拝しました田上と申します。今後ともよろしくお願申し上げます。

教育長 また、ゆいの森担当課長だった小堀純課長は、情報システム課長に異動してございます。そして、小堀課長の後任にはゆいの森サービス担当係長だった村上智之が着任してございます。本日はここに参っておりませんが、案件に応じて出席、説明をさせていただければと思っております。

それでは、スポーツ振興課長、田上課長についてはここで退席してください。

(田上課長 退席)

教育長 改めまして、皆さん、よろしくお願いたします。

議事日程に従いまして、ただいまから議事を進めさせていただきます。

本日は、報告事項が4件となっております。

初めに報告事項ア「新型コロナウイルス感染症について」を議題といたします。菊池学務

課長、説明をお願いします。

学務課長 御手元の資料、右上に令和3年4月9日教育委員会資料と書いている資料で御説明をいたします。区の対策本部会議でお出ししている資料でございますが、まん延防止等重点措置の適用に伴う学校の方針について記載したものでございます。

1番、基本的な方針でございますけれども、従前どおりでございますして、感染防止対策を徹底するということ。3密の回避やこれまで行ってきた広い場所や体育館などを使って各校の状況に応じた対応を行うということ。

(3)外部の方の来校については極力必要最小限としまして、来ていただく場合でも、事前に健康チェックをしていただくこと。また、(4)ですが、飛沫拡散防止のため、いろいろな行事で飲食や歌唱などは行わないこと。

それから(5)につきましては、学校施設の貸出しは、校庭はオープンエアですので利用可としますが、校舎内、体育館等は利用不可という基本的な方針を定めてございます。

2番以降は各行事ですけれども、(1)は、今、申し上げたような感染対策に留意した上で実施を可とするものを記載しております。基本的な教育活動や課外活動は止めないで実施するという方針の下、記載をしております。例えば の遠足、社会科見学は都や県の境をまたぐようなものは実施しないということで、都内のみと。あと、宿泊は伴わないということで実施を可としております。

また、同様に部活動なども中学校体育連盟の方針に従いますが、今のところ様々な大会の中止ということまでは至っていないようですので、それに準じながら部活動も実施するというようにしております。

それから、 の水泳指導ですけれども、昨年は1学期中の健康診断が医療従事者の対応が逼迫しているということでできませんでしたので、水泳指導もできなかったのですけれども、今年はやり方は少し工夫しながらですけれども、実施する方向で準備を進めているということでございます。

また、 は合唱鑑賞教室などと書いていますけれども、歌を歌うということはしないで、プロの方が歌っている様子を体験するというやり方で実施をしてみたいと考えてございます。

(2)でございます。まん延防止等重点措置の適用中は実施をせず、その解除後に延期をするものは、泊りがけになります修学旅行と下田清里の移動教室でございます。

(3)中止としているものは、1の基本的な方針と重なりますけれども、試食会や学年を超えたふれあい給食やバイキング給食などといったものは中止としております。

検討中のものとしたしまして、オリンピック・パラリンピック観戦につきましては、まだ

都の方から方針が出ておりませんので、未定検討中としております。同様に、夏期の下田臨海学園についても検討中としております。これが最新の方針でございます。

そして、もう1枚右上に令和3年3月21日付で緊急事態宣言の解除に伴う対応についてという資料をお付けしておりますが、これは少し前の資料でございます、3月21日で緊急事態宣言が解除になったときに、その後の春休みや入学式をどうするというものを記載しているものでございますが、もう済みとなりましたので、説明は割愛させていただきます。以上です。

教育長 ただいまの説明につきまして、御意見、御質問等ございましたらお願いいたします。

菊池課長、後の話になってしまうけれども、ワールドスクールも検討中に入ってしまうかもしれませんね。

学務課長 ちょっと網羅がここではできていないものがございます。

教育長 趣旨としては都外に出られないとなっているので、難しいかもしれませんね。

坂田委員 授業の参観とかは行うということなのですね。

教育長 そうですね。

学務課長 学校の施設によってなのですけども、古いタイプの廊下と教室が隔てられているようなところは、大人が入ると密になりますので工夫していただいて、廊下と教室の壁がないような学校ですとか、あるいは体育の授業を校庭で見させていただきますとか、体育館で何か工夫したもの、そういうものは見ていただけるだろうということで、詳しくは学校とは調整していきたいと考えております。

教育長 そのほかいかがでしょうか。繁田委員、いかがでしょうか。

繁田委員 直接実施の箇所と関係ないのですけれども、子どもさんが病気のことを勉強するというとあれですけども、こういう病気なので、こういうふうに予防するというか、してはいけないことやできることを学ぶ機会があったのでしょうか。

指導室長 学校では校長が朝礼を活用したりですとか、授業の中での指導もございます。今は新聞ですとかインターネットで情報がたくさん詰まっていますので、それを活用しながら朝の学級活動、学校によりましては養護教諭を活用して指導していると聞いております。

繁田委員 ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

長島委員 まん延防止等重点措置の適用ということで、その措置が適用されている期間についてといいますか、いつまでということではなくて、その措置が適用されたので、現段階ではこういう方針でいきますというものを示したものだとして理解してよろしいのですか。

学務課長 御指摘のとおりでございます。5月11日までという予定でありますが、またその

解除のタイミングで同様の方針をお示ししないと、現場はちょっと困るだろうというのも想定しております。

教育総務課長 修学旅行が実は今、判断が悩ましい時期で、5月9日に第四中学校が予定をしていて、ちょうど境目の時期なのです。ただ、東京の方もまん延防止ですし、関西の京都、奈良とかもそうなので、その状況に合わせて判断するので、移動教室、修学旅行が一番悩ましいと考えているところでございます。

繁田委員 それは都内一律に決まるものではなくて、それぞれの学校なり区なりで決めるものですか。

教育総務課長 基本的に各教育委員会の判断になります。受入れ先が駄目ということであれば一律駄目だと思いますけれども、昨年においても修学旅行に行く区、行かない区というものもありましたけれども、最終的には各区の教育委員会の判断で、あとは学校が管理できるかどうかのタイミングになります。

繁田委員 ありがとうございます。

教育長 区によっては学校長の判断で対応が分かれるところがあるようですけれども、荒川区の場合、小学校長会も中学校長会もできれば区教委として対応を統一してほしいという要望もありまして、まん延防止等重点措置の期間は行わない形で区教委として方針を示させていただきました。

教育部長 先ほどコロナの対策本部会が開かれていたのですけれども、まん延防止に対して、では、去年の緊急事態宣言期間中のような厳しい措置をとるかということ、そこまでは区としてはとらないという形になっています。例えば、区民利用施設につきましても緊急事態宣言のときは利用中止としていましたけれども、今回のまん延防止につきましても、基本は貸出し、利用を再開するという方向でやりましょうという形になっています。ただ、感染状況がかなり拡大してきていますし、変異株の状況もありますので、感染防止に対する啓発についてはしっかりやっていこうということで、今、本部会では意思統一を図ってきたところです。

教育委員会につきましても、今、御報告申し上げましたとおり、感染防止に努めながらなるべく教育活動についてはやっていこうという内容になってございます。この後、都の教育委員会の方から、もし何らかの方針が示されればそれも踏まえてという形になりますけれども、現段階においてはこの方針でやっていければと考えております。

坂田委員 一つだけ。外部から学校に来られる方がおられます。私が参観へ行ったときは、受付があって、そこで記入しているのではないかと思うのですけれども、なるべく記入していただくことがいいのではないかと思います。例えば何かあったときに、児童がいたことは分かっていますけれども、外部からの人はどなたが来られたか記帳がないと分からないので、

連絡のしようがないと思います。だから、なるべくそういうときに記入してもらうようにしたほうがいいのではないかと私は思いますけれども。

教育長 ただいまの坂田委員からの御意見については、来週校長会、園長会がありますので、対応方針について説明する際に、各園、各学校において来園者、来校者に対してはお名前と連絡先を記入していただくという形を徹底するように説明いたします。

教育部長 今現在におきましても、不特定多数の人は校内に入らないというのがありますし、保護者が来る場合につきましても、なるべく保護者一人ないし二人でお願いしますという形をとってございますので、そういう意味では来校者についてはある程度把握できています。あと、業者の出入りにつきましても既に分かっている業者が出入りしていますので、そういう意味では現段階でも学校内に入ってくる人については把握できていると我々としては思っています。

教育総務課長 今、部長が申し上げたとおり、もともとセキュリティというか犯罪防止の観点で学校の入り口のところにスクール安全ステーションがありまして、そこに受付簿がございますので来校者を把握してございます。保護者会のときは当然誰が来たかというのを把握しますし、業者についても確認をするようにします。あと、施設の貸出しについてはその団体に必ず連絡がつくように把握をさせている状況ですので、一定の把握というのはできるかなと思っております。

坂田委員 分かりました。

教育長 改めて徹底するようにいたします。

小林委員、いかがですか。

小林委員 この学校行事ですが、子どもたちにとっては思い出に残るような行事ですので、できる限りは実施していただけたらいいと思います。ただ、非常に感染が広がっているということがありますので、感染状況によって臨機応変に対応していくことも同時に必要ですので、よろしく願いいたします。

教育長 ほかに、本件についてはよろしいでしょうか。

では、次の報告事項に移らせていただきます。

報告事項イ「令和3年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について」を議題といたします。これも菊池学務課長、説明をお願いします。

学務課長 御説明します。御手元の資料、「令和3年度区立幼稚園等・小中学校の就学状況について」という資料で御説明いたします。

まず、1番、幼稚園及び汐入こども園の新園児を中心に御説明いたしますが、白い丸の二つ目のところですけれども、3歳児の新入園児は幼稚園で102人、前の年の2人増でした。

汐入こども園は32人で、前の年から3人少なかったという状況です。抽選は汐入こども園で行いましたけれども、結果辞退などもありまして、御希望の方、繰上げで全員入れている状況です。

2番、小学校でございます。小学校は既に1、2年生は35人学級、3年生以降は40人学級でございます、国の35人学級、全国的には今年2年生から始まっていますけれども、我々はもう35人になっていますので、今年は特に変化ありませんが、来年の新小学校3年生から35人学級がスタートし、毎年1年ずつ増えていくということで段階的に行ってまいります。

新入学児童ですけど、同じく二つ目の白い丸のところでございますが、今年は1,558人で、前の年からマイナス20人という状況でした。

一番下の行ですけれども、小学校の抽選は峡田、二峡、四峡、尾久、一日小の5校で抽選を実施しました。後ほど詳しい状況を御説明いたします。

恐れ入ります。裏面でございます。3の中学校でございます。中学校の新入学生とは白い丸の二つ目のところですけども、1,150人で、前の年から46人多かった状況です。

一番下でございます。抽選は四中と八幡中の2校で実施しましたが、こちらで辞退が相当数出まして、結果全員繰り上げりましたので、区立中学については全員の方が御希望のところに入れたという状況でございます。

続きまして、詳しい資料を載せておりますが、資料3枚目の下半分を御参照いただきたいのですけれども、(2)学校選択制度における抽選の実施状況ということで、先ほど申し上げた小学校の抽選状況が表に記載されています。峡田、二峡、四峡、尾久、一日小であります。二峡小が初めての抽選になりましたけれども、一番下がゼロ人、最終的に繰り上げられなかった人数がゼロ人と書いてありますとおり、結果こちらで二峡小については辞退が相当数ありましたので、結果全員入れたという状況です。

尾久小、一日小の真ん中のところの当選人数がゼロ人となっているところを御覧いただきたいのですけれども、尾久小、一日小は当選がゼロ人だったのですが、尾久小については繰上げがお一人だけありまして、当選はゼロだったのですけれども、補欠の方がお一人だけ入っていただくことができました。一日小については当選がゼロで、繰上げもゼロだったので、抽選、補欠の方から誰も入れず、学区の方で定員がいっぱいになってしまったという状況です。峡田、四峡は半分ぐらいの方が当選しているという状況でした。

中学は先ほど申し上げたとおり全員が入ったという状況でございます。

雑駁ではございますが、説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

教育長 本件について御意見、御質問等ございましたら、お願いいたします。

先生方、2枚目の裏面の小学校児童数及び学級数の欄の第三瑞光小学校の第3学年を見ていただけますでしょうか。

菊池課長、第三瑞光小学校の3学年のことについて説明してもらえますか。

学務課長 上から三つ目の第三瑞光小学校3年生121名なのですがすけれども、こちらは40人学級ですので、120人だと3クラスなのですがすけれども、お1人、実は3、4日前に転校がありまして、121人になったので4クラスになったということで、実は保護者からたった1人なのだから2年生と同じように4クラス編成をしてほしいという強い要望がありまして、議会にも正式な陳情書が出ている状況で、とはいえ私どもも制度で運用していますので、1人だから何とかというお気持ちは分かるのですが、ちょっと困ったなと思っていたところに、学区に引っ越してこられた方がいらっしゃいましたので、結果的に4クラスになったということでございます。同様にその下の汐入小は119人で、2人いれば4クラスになるのですがすけれども、このあと1人問題というのは、35人学級になってもどこかでボーダーを引く限り出てしまう問題なので、丁寧に制度を説明しながら御理解いただくしかないのかなという現状でございます。以上です。

教育長 今の件につきまして御意見、御質問等ございましたら、お願いいたします。

小林委員 1点だけ質問です。幼稚園児数が減少していますけれども、これは幼稚園に就学する児童数全体が減っているのか、あるいは私立に行っているということでしょうか。

学務課長 お答えいたします。区立幼稚園は荒川区に限らず入園児が減っておりまして、一番影響を受けたのが幼保無償化で、経済的に区立は優位だったのが全くなくなってしまったと。これが折からの御夫婦で就労している要件と合わせて、劇的に減少に触れた原因と思っていますので、今後、この9園体制を維持していけるのかどうかという在り方も検討しなければいけないのですがすけれども、この4月分から実は3歳児が7人以下だった場合は、学級編制をしませんよという基準をきちんと保護者の皆さんに付して募集をしていました。結果、7人以下がございましたので、園は運営させていただくのですが、この7人以下学級編制をしないことが2年続いたら廃園を検討するという方針は出していますので、さらに第二ステップといいますか、もう少し在り方を検討していかなければいけないという課題は認識しているところでございます。以上です。

小林委員 ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

坂田委員 総じて見ていると、小学校の場合は、そもそも全体として幼稚園は別として小中学校に関してはほぼ同数と。ほぼ安定した推移になっていると、そういう理解なのですがすけれども、それでよろしいでしょうか。

学務課長 学齢の人数自体は小中学校は大きく変動していませんで、1,700数十人といったところで、ここ数年推移しておりますので、入学数もそれに応じた範囲の変動かなと認識しております。

坂田委員 小学校に関しては、学校別に見ますと、赤土小学校がかなり増えていますね。全体を見るとここが一番特徴的かなと思うのですが、これについては何か理由はあるのですか。

学務課長 赤土の学区につきましては、今年度も学区の対象者が116人いらっしゃったのですけれども、令和2年度は100人ぐらいですか。あまり学年の人数に変更ないので、学校選択で御希望された方が多かったようです。

坂田委員 分かりました。

教育長 若干付け加えて御説明させていただくと、小学校については坂田委員おっしゃったように、そんなに人数の変動はないのですけれども、今年の中学1年生、区立中学に進学する子どもたちの数が増えています。コロナの影響で私立中学への電車通学等に抵抗感を示す御家庭が多かったからなのか、それとも経済的な理由で区立中学を志望したのか。はっきりした原因が分かりませんが、例年に比べて区立中学への進学者が多かったという状況はあります。

長島委員 増減をみると、特別支援学級の就学が増えていますよね。ほかは減っているのだけども。

教育長 大久保所長。

教育センター所長 就学相談が今回非常に増えておりまして、様々なところで要因を考えているのですけれども、やはり発達障がい、特別支援教育に関して広く理解が深まって認知されているところが大きく影響があるのではないかと推察してございます。

教育長 今年度から第三中学校にも特別支援学級を設置するとともに、中学校については特別支援教室も全校で実施するようにいたしました。長島委員からただいま御質問頂いたように、全体的に支援が必要なお子さんについて、支援体制を充実している状況にあります。

小林委員 質問です。学校選択制で四中を見ますと、通学区域外の希望者がかなり多いのですが、それはこういった要因なのでしょうか。

教育長 四中はかつて1学級になってしまいまして、地域の方々も大変心配しておりました。その後、赴任してきた校長先生たちが頑張って学校改革に取り組み、クラブ活動も充実し、加えて制服も新しくいたしました。そういう効果が表れているのではないかと思います。地域の方たちは大変喜んでいらっしゃいます。

小林委員 分かりました。ありがとうございます。

学務課長 四中でございますけれども、99人の募集に対して56人が学区内のお子様で、学区内の大体の構成率が60%ぐらいなのですけれども、確かに残りの方は学区外ですから、学区外の方の人気の高い学校といえます。ただし、99人の募集枠のうち、学区にお住いの新中学1年生は89人しかいませんので、89人に対して56人が入学してくださったというのは、私立中学などのことも勘案すると、もともとの人数も少ないというのも要因としてあるのかなと考えてございます。

教育長 よろしいでしょうか。では、本件については以上とさせていただきます。

続きまして、報告事項ウ「公立学校教職員の措置等について」を議題といたします。人事の案件でございますので、会議を非公開として報告を受けさせていただきたいと思いますが、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声)

教育長 では、非公開といたします。事務局側説明者を除いて退室をお願いします。

(事務局 退室)

(事務局 入室)

教育長 それでは、続きまして報告事項エ「荒川区子ども読書活動推進計画(第四次)の策定について」を議題といたします。小林ゆいの森課長、説明をお願いします。

ゆいの森課長 「荒川区子ども読書活動推進計画(第四次)の策定について」御説明いたします。本年2月12日に本委員会で御報告させていただきました素案につきまして、パブリックコメントを実施いたしまして、意見に対する区の考え方を整理したので御報告するものでございます。

内容でございます。1、パブリックコメントの実施概要でございますが、意見募集期間は3月1日から15日の間で、閲覧箇所につきましては記載のとおりとなっております。

2、パブリックコメントの実施結果でございます。意見提出者は35名、意見の総数は57件となっております。

(3)意見の取扱いについてでございますが、計画に反映したものが6件、既に盛り込んでいるものが49件、意見・要望としてお聞きするものが2件となっております。頂いた意見に関する区の考え方の具体的な内容につきましては、裏面以降に記載をしているところでございます。頂いた御意見のほとんどが、計画案に肯定的な御意見となっておりました。幼い頃から読書習慣が重要であることや家庭内における読書活動の充実、特に家読(うちどく)の推進の取組への期待等の御意見が多く見られました。

計画に反映したものにつきまして、主なものといたしましては、6ページの項番12を御覧ください。こちらでは保護者向けの取組の中に祖父母を加えるべきとの御意見をいただき

ました。この御意見に対しまして、保護者等の記載の箇所に親や祖父母等という記載を明記させていただいたところでございます。

続きまして、13ページの項番33番を御覧ください。図書館には静かな空間と友達同士で話してもよい空間があるとよいとの御意見を頂きました。この意見につきましては、本書の45ページの説明文中に静かに読書ができる空間に加え、周りに気兼ねすることなく気軽に会話ができるという記載を追記させていただいたところでございます。

このほか、四つの意見を含めまして計6件について計画に盛り込むとして反映させていただいてございます。

今後の予定としましては、4月13日の文教・子育て支援委員会の方に報告を行わせていただきたいと思いますと考えてございます。

簡単ではございますが、説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

教育長 本件につきまして、御意見、御質問等ございましたら、お願いいたします。

坂田委員 たくさんパブリックコメントを頂いたこと自体は非常にいいことだと思います。区民の皆さんに関心を高く持っていていただいていることの評価かと思います。ほかの部局のことは分からないと思うのですけれども、57件というのは割と多いほうではないかと思うのですけれども、そういう理解でよろしいですか。

ゆいの森課長 前回、平成27年度の第三次の見直し的时候も同様にパブリックコメントをいたしまして、そのときは11件しかなかったものですから、今回、第四次では相当増えている状況で、読書に関する区民の関心が高まっているのかなと感じてございます。

坂田委員 分かりました。

小林委員 このパブリックコメント全体を見せていただきますと、非常に好意的で肯定的な御意見が多いようです。また、直接に図書館に持参していただいた方が多く、利用者の方が満足されていて、これからもぜひ頑張ってほしいという、そういった応援という立場で書かれているものが多いのではないのでしょうか。それが1点目です。

2点目ですが、このパブリックコメントに対しまして、担当のゆいの森課、地域図書館課が丁寧な回答をされておりまして、その点は非常にいいと思いました。反映できるものに関しては反映されているということで、6件入れてくださっているのも、この点もいいですね。

それと、このパブリックコメントを読ませていただきますと、荒川区で様々な読書活動をやってきてまして、その中で育ってこられた方が書いてくださっているものがあります。柳田邦男先生へのお手紙であるとか、読書活動が充実しておりますので、その中で本が好きになったという御意見もありまして、これは読ませていただいてうれしいなと思いました。これからもぜひ、くれぐれもよろしくお願いいたします。

ゆいの森課長 私も今回のパブリックコメントを読ませていただいて、本当にこれまでの区の読書活動が区民の方に知っていただいて、またそのことの良い影響が出ているのだなと実感しました。特に今回、先生がおっしゃっていただいた10ページの項番26になりますが、この方は大学生なのですけれども、柳田先生の絵本大賞に何度か応募していただいて、受賞もされている方で、こういった取組がきっかけで、今も読書が好きになっているという御意見なので、教育委員会でも様々なコンクールをされていると思うのですけれども、そういったことが読書につながる成果になっていると改めて実感して、所管として大変うれしく思った次第でございます。以上でございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

繁田委員 質問された区民の方は、この区の方々の答えを御覧になれるのですか。

ゆいの森課長 こちらにつきましては、議会に報告させていただいた後、計画が確定いたしました。それにつきましてはホームページの方でこのパブリックコメントの、まさに出ている内容をそのままホームページの方に掲載させていただいて、公表する形を考えてございます。意見頂いた方にはそこで答えが分かるような形になっています。

繁田委員 ありがとうございます。

教育長 そのほかいかがでしょうか。

小林課長、ちなみに属性というか、35名の方の年齢とか保護者とかはわかりますか。

ゆいの森課長 保護者かどうかというのは確認できてないのですけれども、年代別に見ますと、一番多かったのが50代の方で、22.9%と最も多かったです。その次、同率になりますが、40代、60代、80代が14.3%、その次が10代で11.4%。35人中4人の10代の方が応募していただいていて、かなり幅広く世代としては頂けているかなと思います。

長島委員 その中の35名で、内訳で持参27名とあるのですけれども、持参というのは図書館に直接提出したということですね。

ゆいの森課長 そうということですよ。直接窓口でいただきました。

教育長 よろしいでしょうか。では、以上とさせていただきます。

予定しておりました事項は以上ですけれども、事務局から連絡事項等ありますでしょうか。

教育総務課長 令和3年度の教育委員会日程のところを御覧いただければと思います。今回修正はございません。おととい、昨日と小学校、中学校の入学式、無事終了することができました。ありがとうございます。週明けに幼稚園等がございますけれども、現在はしっかり活動ができているところでございます。

今年度、昨年度は学校休業などでなかなか教育委員会の委員の先生方に学校訪問などがで

きなかったところがございます。感染対策を徹底しながら、できれば今年度は現場の方を御覧いただけるように事務局としても努力したいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いたします。以上でございます。

教育長 よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして教育委員会定例会を終了とさせていただきます。

了